

オレンタンジーの認可学校看護師一同、皆さんが学区へ入学されることを歓迎いたします。オレンタンジー・ローカル学校は、すべての生徒に最大限の学習を促す、ことに努めています。この使命をサポートするために、私たちはすべての生徒の健康と安全を促進することに専念しています。保健部門からの以下の重要な情報をご確認ください。

予防接種情報：

オハイオ州法 3701.13 では、別途免除されない限り、すべての生徒が完全な予防接種履歴を学校に提出し保管することが義務付けられています。要件については、Ohio Department of Health Immunization Summary（オハイオ州保健省の予防接種概要）をご覧ください。入学後 14 日以内に予防接種の証明書を提出する必要があります。

投薬管理：

処方薬と市販薬

キンダーから5年生の生徒の場合、すべての投薬管理は、クリニックで行われる必要があります。

授業時間内の投薬（処方薬または市販薬）は、次の手順に従わなければなりません。

1. 学校で吸入器が必要な場合は、医師によるAsthma Action Plan（喘息対応計画）が必要となります。生徒が例えば、EpiPen 又は Auvi Q といったエピネフリン自動注射器を必要とする場合は、Food Allergy and Anaphylaxis Emergency Care Plan（食物アレルギー及びアナフィラキシー緊急治療計画）が必要です。すべての処方薬について、記入済みのPhysician's Prescribed Medication/Procedure Request Form（処方薬/処置依頼書）をオフィスに保管しておく必要があります。市販薬の場合は、Parent's Non-Prescription Medication Request Form（市販薬投薬依頼書）にご記入ください。
2. すべての医薬品は元の容器に入れられた状態で、学校に手渡されなくてはなりません。容器には、名前、薬剤、投与量、および投薬方法が正確に記載されていなければなりません。
3. 適切なラベルが貼られていない状態で学校に渡された薬（ビニール袋に入った錠剤など）は投与されません。適切な書類が揃っていない場合は、保護者が薬を投与する責任があります。年度中にお子様の薬の投与量に変更された場合は、速やかに学校のクリニックにお知らせください。ご協力に感謝いたします。

6年生から12年生までの生徒の場合、処方薬の管理はクリニックで行われる必要があります。市販薬は、Self-Carry Non-Prescription Medication Request Form（処方箋なし薬自己携行申請書）がファイルされている場合、学生が携行し自己管理することができます。

健康診断：

Ohio Department of Health（オハイオ州保健省）の要件とガイドラインに従って、学校看護師は聴覚と視覚の異常を検出するために定期的に健康診断を実施します。懸念される場合にも健康診断を実施することがあります。

疾病：

現在病気の症状がある生徒は登校させないことが重要です。これには過去 24 時間以内の発熱 (100.4° F 以上)、嘔吐、下痢、および持続的な咳が含まれます。薬の効果が無い状況で症状が現れない状態が 24 時間経過するまでは、自宅療養が推奨されます。お子様が学校で体調が悪くなり、帰宅する必要がある場合は、クリニックのスタッフがご連絡します。お子様の緊急連絡先情報を最新の状態に保ってください。

健康上の特別支援：

お子様に特別な医療支援や健康状態がある場合、または毎日薬を服用している場合は、学校の看護師にご連絡ください。お子様が重度のアレルギー、発作、喘息、糖尿病などを患っている場合、または学校で特別な治療が必要な場合は、速やかに学校の看護師に通知する必要があります。食物アレルギーや特別な食事制限がある場合は、教師とカフェテリアのマネージャーに通知してください。

再確認 5/11/2023